



東海興業 サステナビリティレポート

Sustainability Report 2023

TOKAI KOGYO



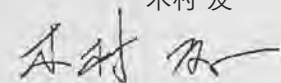
TOP MESSAGE

**事業環境の変化に対応し当社の社会的責任を果たすため
技術イノベーションへの積極的な投資を推進します。
事業の発展と社会課題解決との好循環を創出し、
ステークホルダーの皆さまへ、より高い価値を提供できるよう
に挑戦し続けます。**

政府は2050年までにカーボンニュートラル達成という目標を掲げ、当社が属する自動車産業においてもカーボンニュートラルやゼロエミッションに対するさまざまな取り組みが行われております。当社においてもグループの持続的な成長とサステナブルな社会への貢献を目標として、「TKG2025」（グループ中期経営計画）のもと事業活動を推進しており、昨年この実現に向けたロードマップを策定しました。技術イノベーションへの投資を積極的に進めることにより、持続可能な社会づくりに貢献していきたいと考えています。

現在、自動車産業はサプライチェーンの混乱や物価高騰、電動化によるグローバルでの大きな市場の変化に直面しており、当社も事業環境の急激な変化に対してサプライチェーンの適正化やデジタル化推進による業務効率化など、経営戦略の再構築が必要となっております。当社はさらなる事業基盤の強化を進め、事業の発展と社会課題解決との好循環を創出することにより、これからもステークホルダーの皆さまへより高い価値を提供できるよう挑戦を続けます。

取締役社長兼CEO
木村 友一



企業方針

● 社是

わが社は研究と創造とにはげみ よい製品によって社会に貢献し社業のたゆみない進展をめざす

開発：つねに時流に先んじアイデアと時間を尊重する

和親：誠実と信頼により明朗と協調とをはかる

感謝：反省を進取の糧(かて)とし勤労のよろこびに生きる

● 経営基本理念

会社の使命

新しい価値を創造して、お客様の
信頼・社会への貢献・従業員の
幸せ確保を果す

社員の行動

1. 狙いを定めて スピーディーに行動
2. 自己を磨いて 明日に挑戦
3. 正しく 明るく 元気よく

経営の方針

1. 内外の法を尊重し 社会から信頼される企業市民をめざす
2. 品質至上主義で 世界のお客様に満足を提供する
3. 商品と工法の開発で 住みよい地球づくりに貢献する
4. 情報技術を駆使して 経営効率を上げる

事業を通じて「SDGs(持続可能な開発目標)」への貢献

2015年9月に国連サミットで、持続可能な発展のために世界が共有して取り組む17のゴール「SDGs(持続可能な開発目標)」が採択されました。東海興業は、SDGsの達成に向けた役割にコミットし、事業を通じてサステナブル企業をめざした活動を推進していきます。



■ 編集方針

「サステナビリティレポート2023」は東海興業が果たすべき社会的責任と、社会課題の解決のために行っているさまざまな取り組み成果をESG：環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)に分類してステークホルダーの皆さまにお伝えし、当社の活動に対する理解を深めていただくことを目的に発行しています。

■ サステナビリティ方針

私たちは、経営基本理念にもとづきサステナビリティ方針を制定しました。

1. 国の内外を問わず、人権を尊重し、すべての法令、国際ルールおよびその精神を遵守し、高い倫理観をもって健全な企業活動を展開していきます。
2. 事業活動を通じて社会からの信頼と期待に応えることにより、各国・各地域の発展ならびに持続可能な社会の実現に貢献します。
3. ステークホルダーの期待に応える事業活動を実践するにあたり、企業行動の規範となるべき「サステナビリティ方針」を定め、経済・環境・社会との調和を保ち、共存共栄を実現します。

01 TOP MESSAGE

03 会社紹介

05 特集1
六方よしの東海興業

07 特集2
TKG2025ビジョンが生むSDGsドミノ

09 社会
「健康経営」と「働き方改革」で「創造的な組織」を実現
「健康経営」
「働き方改革」

15 エンゲージメント

16 社会
サステナブルなもののづくりと調達活動

17 特集3
東海興業グループ企業のCSR

19 社会
文化・スポーツを通じた社会貢献

21 特集4
脱炭素社会に向けたカーボンニュートラルの取り組み

23 環境
持続可能な社会をめざす環境対応/
人と地球にやさしい未来へのイノベーション/
事業部の環境への取り組み

27 ガバナンス
持続可能な企業づくりを推進

29 CSR活動とSDGs

30 ガイドライン・第三者意見

COMPANY PROFILE 会社紹介

当社は無機・有機材の複合成形の専門メーカーとして、材料開発から製造、販売まで一貫した体制で、世界中のお客さまに満足と信頼を提供します。

会社概要

東海興業株式会社(TOKAI KOGYO CO.,LTD.)

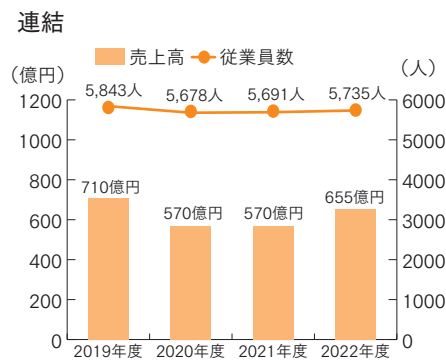
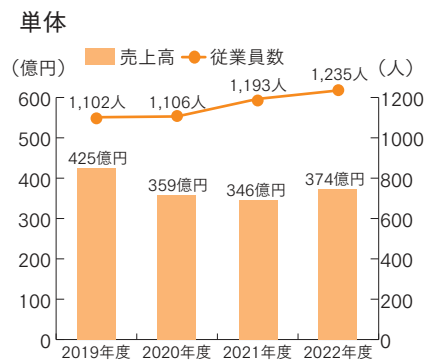
愛知県大府市長根町四丁目1番地

TEL:0562-44-1500 FAX:0562-44-1590

資本金/3億135万円 設立/1947年3月31日 決算/3月

事業内容/自動車用樹脂・ゴム・シート部品、車載電子部品、建材用部品およびその関連商品の製造販売

従業員・売上推移

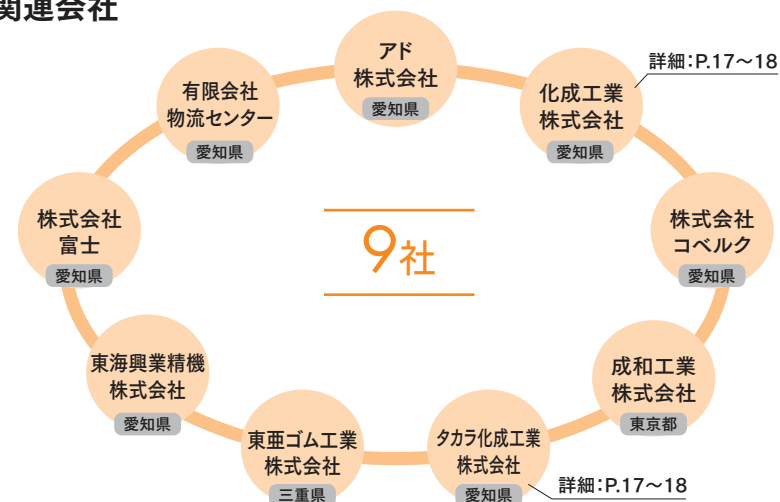


主要取引先

- トヨタ自動車株式会社
 - トヨタ紡織株式会社
 - いすゞ自動車株式会社
 - 三菱自動車工業株式会社
 - トヨタ車体株式会社
 - スズキ株式会社
 - 株式会社豊田自動織機
 - 株式会社デンソー
 - 本田技研工業株式会社
 - ダイハツ工業株式会社
 - 日産自動車株式会社
 - 積水ハウス株式会社
- [順不同]

ネットワークでつなぐ生産体制

● 関連会社



● 技術提携先



国内拠点

- : 本社/国内工場/営業所
- : 関連会社

下條工場



栃木営業所



国内工場5カ所
国内営業所5カ所
関連会社9社

海外拠点

海外拠点7カ国

東亜ゴム工業株式会社

大阪営業所



成和工業株式会社

関東営業所

浜松営業所

化成工業株式会社

株式会社富士

アド株式会社

有限会社物流センター

株式会社コベルク

東海興業精機株式会社

タカラ化成工業株式会社

大府工場/本社営業所



衣浦工場



高浜工場



高浜第2工場



廣州東海敏孚汽車部件有限公司
武漢東海敏實汽車零部件有限公司
嘉興東榮敏實汽車零部件有限公司
天津東海敏實汽車零部件有限公司
清遠東海敏實汽車零部件有限公司
滋榮技研貿易(上海)有限公司
嘉興滋榮汽車配件有限公司
(中国)



GREEN TOKAI CO., LTD.
(アメリカ)



VIETNAM TOKAI CO.,LTD.
(ベトナム)



TokaiKogyo de Mexico,
S.A. de C.V.(メキシコ)



PPAP TOKAI INDIA
RUBBER PRIVATE LIMITED
(インド)



TOACS(THAILAND)CO.,LTD.
TOKAI JIEI (ASIA) CO., LTD.
JIEI (THAILAND) Co., Ltd
TOKAI KOGYO SEIKI(THAILAND) CO.,LTD.
(タイ)



PT.TOYOTA AUTO BODY-
TOKAI EXTRUSION(T-TEC)
(インドネシア)



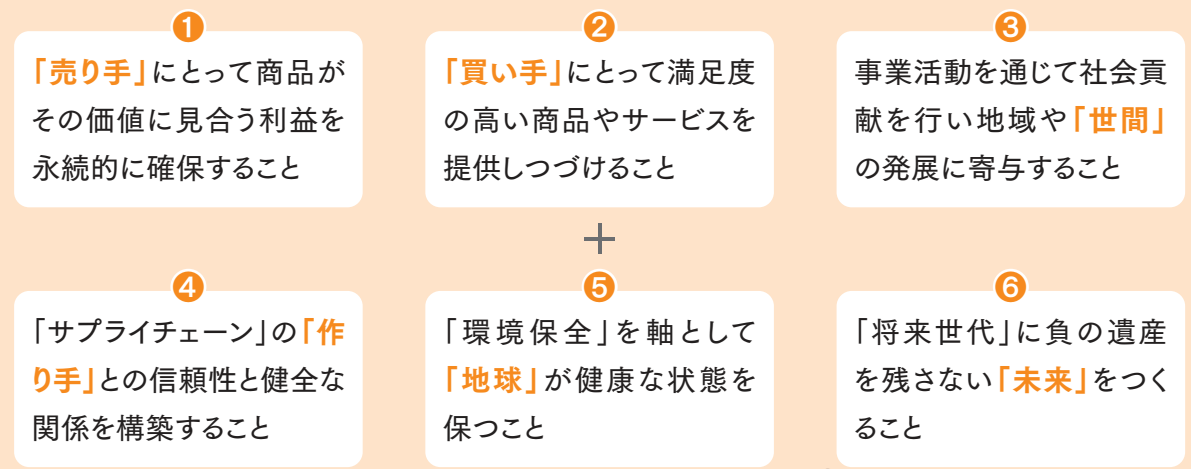
特集
1

「六方よしの東海興業」 サステナブル経営

当社は、近江商人の信条「**三方よし**」、すなわち売り手よし、買い手よし、世間よしをSDGsビジネスモデルとして、顧客をふくめた地域社会への貢献をサステナビリティ方針として体現しています。

一方、最近では世の中の潮流として地球環境へのビジネスの影響や、将来世代へ何を残していくかが問われるようになってきました。

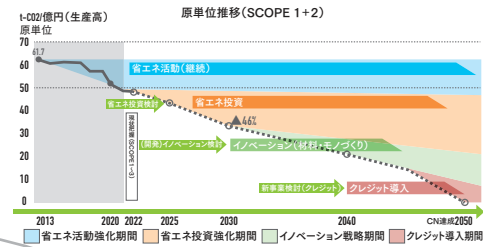
近江商人の「三方よし」の信条を基礎として
さらに**3つの「よし」**を加えた経営を**六方よし経営**といいます



2050年カーボンニュートラルに向け
ロードマップを策定、
脱炭素社会に貢献します。

▶ P.21

地球
よし



サプライヤーとの
信頼関係を
構築します。

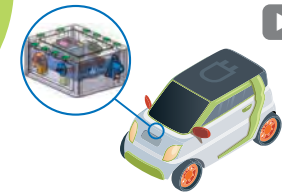


▶ P.16

作り手
よし

次世代のモビリティ社会に
当社の技術で
明るい未来をイノベート
します。

▶ P.24



未来
よし

六方よしの 東海興業

企業活動を通じて
学校教育分野で
地域社会に
貢献しています。



▶ P.20

世間
よし

従業員の
職場環境改善・
働き方改革を
推進します。

▶ P.09



売り手
よし

お客さまとの強固な
信頼関係により安定した
取引を継続しています。

▶ P.28



買い手
よし

TKG2025ビジョンが生むSDGsドミノ

当社はTKG2025(グループ中期経営計画)ビジョンに掲げられたキーワード「技術革新」をコア目標にさまざまな事業活動を実践しています。当社は事業を通じてSDGsの目標達成に向け相互関連に着目しすべてのステークホルダーへの関わりや貢献を整理しました。

TKG2025ビジョン

**強固な経営基盤の確立と
技術革新により新たな価値創造と地球
環境に貢献、
すべてのステークホルダーに
求められ続ける企業をめざす。**

技術革新

9 産業と技術革新の
基盤をつくる



12 つくる責任
つかう責任



【当社の取り組み】

研究開発、技術開発、生産ラインの改善などで持続可能な生産【つくる責任】と原材料鋼材等の消費形態【つかう責任】を確立する。

【SDGsターゲット】

12.4 化学物質や廃棄物を削減する(製品ライフサイクルを通じ、化学物質や廃棄物の管理を実現し、人の健康・環境への悪影響を最小化する。)

私のSDGs宣言



作業環境の更なる改善や技術革新のため、新しい技術やシステムを学び、積極的に生産ラインへ取り入れています。



設備部 田中貴弘さん



SDGsは2030年のあるべき姿を17のゴールで表現、具体的な目標を169のターゲットで示しています。当社はターゲットに示された目標にコミットし取り組みを推進しています。

【当社の取り組み】

安全健康の推進、および作業環境の整備により当社で働く全従業員の心身の健康的な生活を確保する。

【SDGsターゲット】

3.9 有害化学物質、ならびに大気・水質汚染による疫病を撲滅。



【当社の取り組み】

持続可能なエネルギーへのアクセス、および省エネルギー設備によりカーボンニュートラルを実現する。

【SDGsターゲット】

7.2 再生可能エネルギーの割合を倍増させる。

7.3 省エネ設備への積極投資によるエネルギー効率を倍増

すべてのステークホルダー



①【地域社会】 活性化

P.19~20

【当社の取り組み】

当社の事業活動を通じ、子育て・学校教育分野で地域社会に貢献する。

【SDGsターゲット】

- 4.1 初等・中等教育において無償かつ効果的な学習成果を支援する。
- 4.2 乳幼児・就学前での子育てを支援する。



②【従業員】 元気で強い会社

P.9~14

【当社の取り組み】

持続可能な自社の成長と全従業員の生産的で働きがいのある雇用を創出する。

【SDGsターゲット】

- 8.5 すべての従業員に対し安全な労働環境の促進と働きがいのある企業風土を醸成する。



③【地球環境】 事業を通じた 脱炭素

P.23~26

【当社の取り組み】

気候変動およびその影響を軽減させるためにLCA(ライフサイクルアセスメント)視点での脱炭素社会を実現する。

【SDGsターゲット】

- 13.2 気候変動対策をサプライチェーン(顧客、物流、仕入先)全体で実現する。

強固な経営基盤の確立



④【お客さま・ 仕入先さま】 持続可能な企業

P.16

【当社の取り組み】

持続可能で強固な経営基盤確立のため、当社にかかわるすべての企業、地域、従業員とのパートナーシップを強化する。

【SDGsターゲット】

- 17.17 パートナリシップの経験や経営資源をもとに当社およびパートナーがともに成長する。

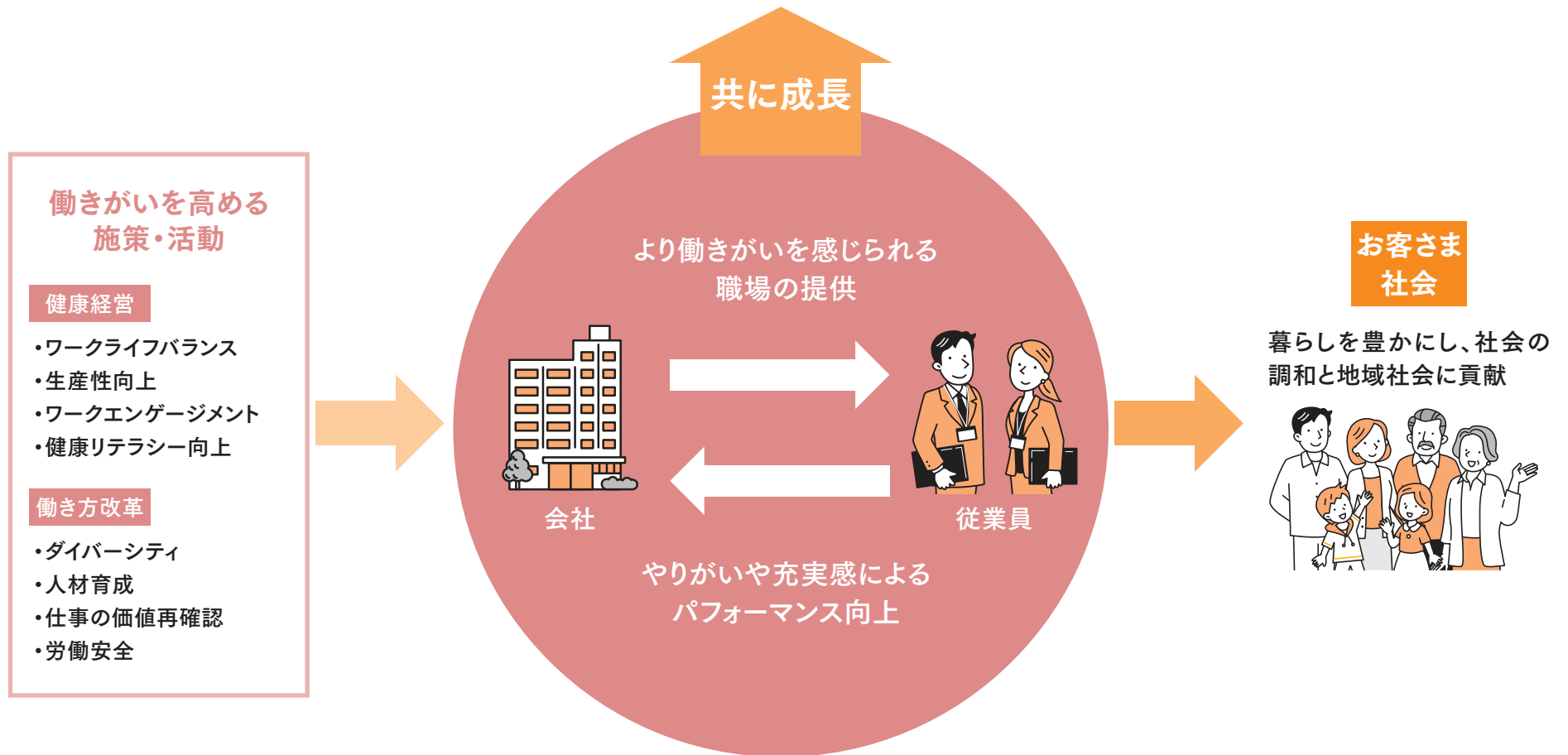
「健康経営」と「働き方改革」で〈創造的な組織〉を実現

[従業員とともに] サステナブル企業をめざす職場づくり

「働きがいを感じられる職場の提供」と「やりがいや充実感によるパフォーマンス向上」により、共に成長し21世紀を飛躍し続けるサステナブルな組織の実現に向け、従業員の目線で活動を強化しています。



自動車部品サプライヤーのプロフェッショナルとしてのプライドを胸に 「21世紀を飛躍し続ける」企業



「健康経営」

●健康経営方針

『経営理念』を実現して、商品の開発による住みよい地球づくりに貢献し品質至上主義で世界のお客さまに満足を提供するには、従業員自身が健康であることが不可欠であり、健康でなければお客さまの信頼を得ることができません。

当社は、会社の成長を支える従業員とその家族の心身の健康を重要な経営資源のひとつと捉え、健康維持・増進活動に対する積極的な支援と組織的な健康づくりの推進によって、従業員がいきいきと豊かで快適・健康な社会生活と経済の発展に貢献する会社をめざします。

●健康経営優良法人2023認定

当社は健康経営に取り組む優良企業として、経済産業省・日本健康会議から「健康経営優良法人2023(大規模法人)」を3年連続して認定されました。



健康経営推進体制

ワークエンゲージメントの向上

- ・ワークエンゲージメントの向上
- ・熱意、活力の向上

P.12

ワークライフバランスの充実

- ・労働時間の管理
- ・有給休暇取得の奨励
- ・育児と勤務の両立

P.11



生産性の向上

- ・職場環境の向上
- ・ストレスチェックとセルフケア
- ・生産性向上の指標評価

P.12

健康リテラシーの向上

- ・健康診断
- ・ヘルスマチャレンジ

P.11

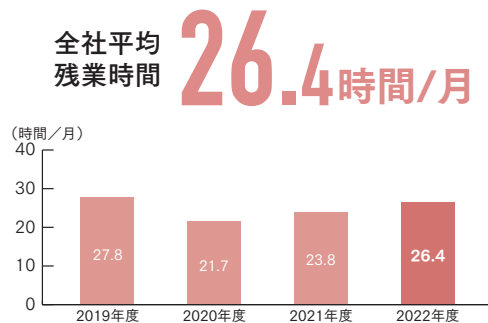
ワークライフバランス



働きがいのある職場づくりと心豊かな生活の充実にに向けた取り組みを推進

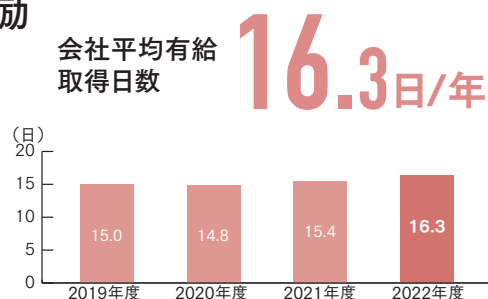
●労働時間の管理

在宅勤務やフレックス勤務・IT化などワークライフバランスに配慮した職場環境づくりにつとめています。健康でいきいきと働ける職場をめざし、労働組合の協力のもと残業時間の管理を行っています。



●有給休暇取得の奨励

仕事の効率化、稼働の平準化をはかり、計画的に休暇を取りやすい職場環境を整備、有給休暇取得状況を毎月フォローし、すべての従業員が公平で確実に取得できるよう活動を推進しています。



●育児と勤務の両立

育児休暇取得後も小学校3年生進級までは時間短縮勤務やフレックス勤務が可能です。また、男女ともに仕事と育児の両立ができるよう、法令の改正に準じ「育児・介護休業制度」を整備し、取得を奨励しています。

時短勤務
小学3年生進級まで選択可能

制度利用者

育児休暇 **4名**

時短勤務者 **7名**

フレックス勤務 **6名** (2023年3月末時点)

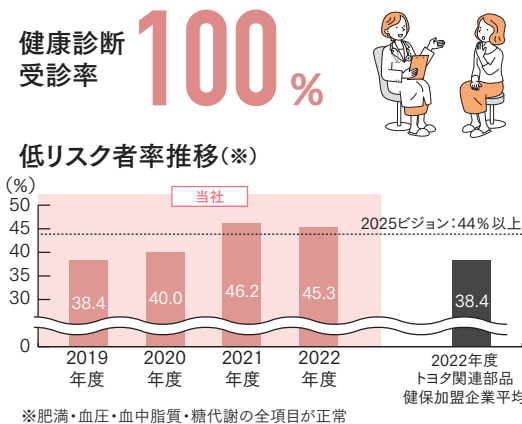
健康リテラシー向上



自発的な健康維持・増進に対する積極的な支援

●健康診断

従業員の心身の健康の維持のため年1回の定期健康診断を実施しています。また、当社は「健康づくり2025ビジョン」を策定し健康増進活動に取り組み、2年連続して2025ビジョンを達成しました。



●ヘルスマチャレンジ

当社は毎年、9月～11月までの3か月間を健康づくりキャンペーンとして、運動習慣・食事改善・歯のケアを柱とする「ヘルスマチャレンジ」を展開しています。この活動は従業員の健康維持増進の一助となっています。

ヘルスマチャレンジ参加率

74.4%



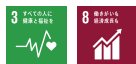
Topic トヨタ関連部品健保「健康優良賞」2部門受賞

当社の健康診断の結果、「健康度の部」(健康者率上位4社)と、「改善の部」(健康者増加率上位4社)の2部門について、トヨタ関連部品健康保険組合より表彰を受けました。



※トヨタ関連部品健康保険組合はトヨタ自動車の主要な部品メーカーで構成された健康保険組合です。

生産性の向上



職場環境の改善など生産性向上につながる取り組みを
実践

● 職場環境の向上

風通しの良い職場をめざして、管理職を対象に「何でも言いあえる風土づくり」宣言カードを配布しています。上司はバッドニュースファーストの実践や部下の報連相に耳を傾けるなどコミュニケーション向上をはかっています。



● ストレスチェックとセルフケア

メンタルヘルス不調の未然防止のため、年1回のストレスチェック結果に基づき、産業医や外部カウンセラーによるフォローアップ面談などを実施し、心身の健康をサポートするとともに、職場環境の改善を推進しています。

ストレスチェック受検率

97.0%

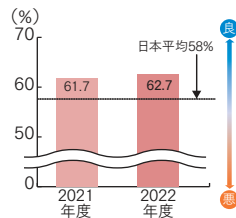


● 生産性向上の指標評価

当社では、従業員の生産性向上の指標評価をWHO-HPQを用いて測定しています。風通しの良い職場、ハラスメント防止などの活動に加えストレスチェックによる課題の対応で心身ともに健康で働ける環境に取り組んでおりスコアは年々向上しています。

プレゼンティーズム (WHO-HPQ)

62.7%



ワークエンゲージメント



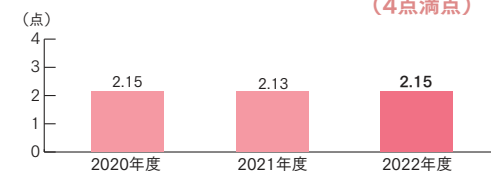
「働きがい」をもって働くことのできる環境の実現にむけて

● ワークエンゲージメントの向上

当社は5年毎、従業員に対し37項目の満足度アンケートを実施し課題解決に取り組んでいます。その結果ストレスチェックによる指標であるワークエンゲージメントが前年よりポイントアップ、働く意欲・活力が向上しています。

ワークエンゲージメント (個人のいきいき)

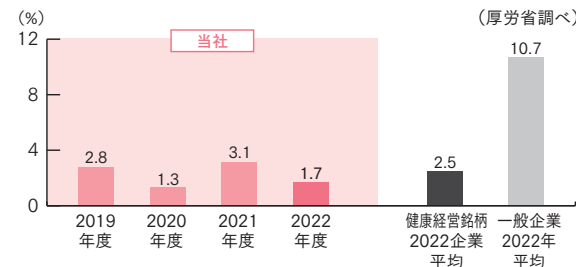
2.15点
(4点満点)



● 熱意・活力の向上

仕事に対するポジティブな感情や充実感の向上により、昨年度より自己都合退職者数が減少。健康経営銘柄企業の平均値よりも低く、活力・熱意のある職場を提供しています。

離職率 1.7%



私のSDGs宣言

設計の仕事は業務量が多いですが、仕事終わりにゴルフレッスンや趣味のトレーニングを楽しんでいます。仕事とプライベートメリハリをつけることで両立しています。



設計部 大力量さん

当社は健康経営とならび、働き方改革についても重要な取り組みとして推進しています

当社が考える働き方改革の目的

イノベーション(技術革新)を起こし、価値創造につなげる経営を、働きやすい職場の視点で実現する

取り組み① 労働安全

すべての従業員が安全安心で業務に従事できる環境を整備

- 安全衛生マネジメントシステムの本格導入
- 安全活動

P.13

取り組み② ダイバーシティ

全員参加型社会の実現に向け、多様な価値観を尊重し、人材を活かし、能力が最大限発揮できる機会を提供

- 女性の活躍
- 国境を越えた人材の採用と育成
- シニア層の活躍
- 障がい者雇用

P.14

取り組み③ 仕事の価値の再確認

従業員自ら仕事の生産性向上に向けた活動を全社で推進

- 業務改善優秀事例展示会

P.13

取り組み④ 人材育成

従業員のチャレンジ精神やスキルアップを後押しすることを目的にさまざまな教育の場を提供

- Skill Up Café プラン

P.14

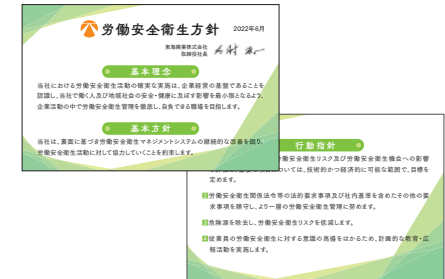
労働安全



安心して働ける職場環境づくり

●労働安全衛生マネジメントシステムの本格導入

労働災害の防止と従業員の健康増進、さらには快適な職場環境を形成し、職場の安全衛生水準を向上させるために当システムを導入。23年3月にはISO45001認証取得、「安心して働ける職場環境」を構築していきます。



労働安全衛生方針カード

●安全活動

「安全は全てに優先」この基本理念にもとづき、「安心して働ける職場環境づくり」、「安全意識の向上」のためにさまざまな安全啓発活動に取り組んでいます。



安全体感教育風景

仕事の価値の再確認



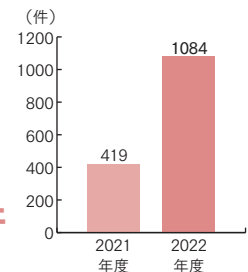
仕事の生産性向上と効率化への取り組み

●業務改善優秀事例展示会

当社では、仕事の生産性を議論する機会の提供を目的に、年1回の優秀事例展示会を開催しています。WEB展示の併用により多くの従業員が参加し、改善事例が全社に展開されています。

業務効率改善
提案件数

1084件



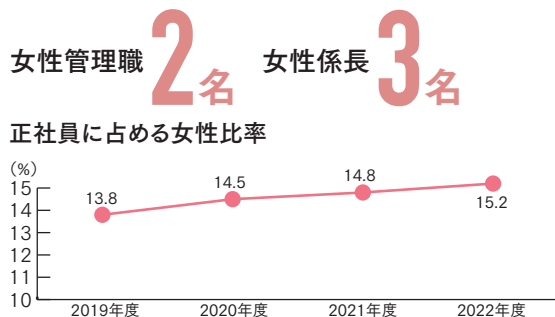
ダイバーシティ



多様な人材と価値観を共有し組織の活性化とグローバルな価値創造へチャレンジ

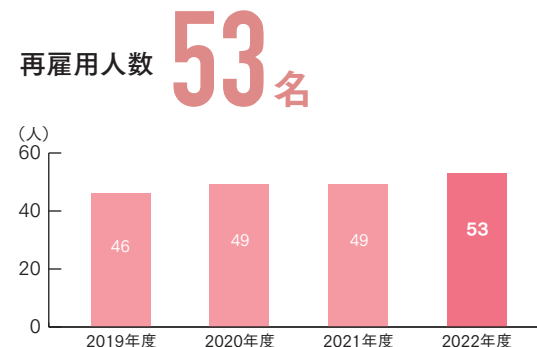
●女性の活躍

管理・監督職を含む多くの女性従業員が研究、設計、営業、海外事業などの間接部門で活躍中です。また、活躍できる職種の拡大をはかり、製造部門での積極的な女性採用も進めています。



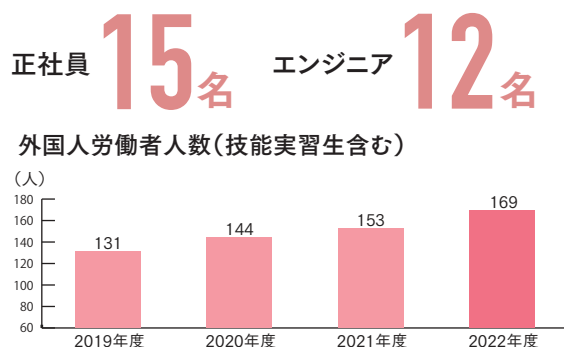
●シニア層の活躍

シニア層の長年培ってきた知識や能力は貴重な財産であり、後世への伝承が必要不可欠です。経験豊富なシニア層がより働きやすい職場となるよう、環境の改善をはかっています。



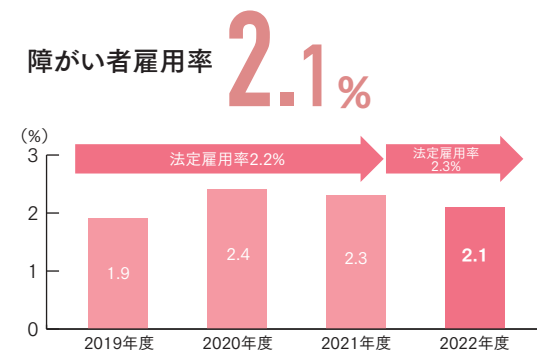
●国境を越えた人材の採用と育成

経営のグローバル化をはかるため、国籍を問わず優秀な人材を積極的に採用しています。また、外国人技能実習生の受入れも積極的に行い発展途上国等の経済発展を担う「人づくり」の一翼を担っています。



●障がい者雇用

当社では、より多くの障がい者のみなさんがやりがいを持って働くことができるよう社内の各職場で活躍できる場を整えるとともに就労支援事業を活用し雇用の促進に取り組んでいます。



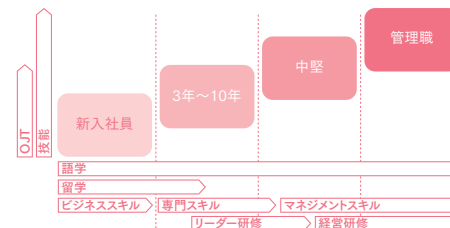
人材育成



従業員のチャレンジ精神の尊重と能力の向上

●Skill Up Caféプラン

当社教育プラン(Skill Up Café)では、新入社員から部長までが段階的に受講する「階層別教育」と、従業員自らが学びたい教育を自由に選択できる「技能別教育」があり、自己啓発・能力開発を後押ししています。



私のSDGs宣言



誰もが働きがいのある工程作りや改善を通じた人作りを推進することが革新生産部の役割です。それを持続させ、技術革新やエネルギー削減に努めています。

Our role is to create an efficient and motivating workplace and to spread our know-how through Kaizen training.

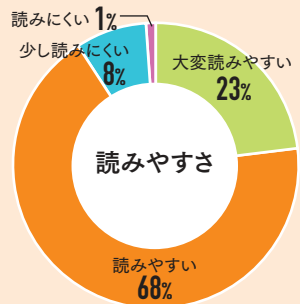


革新生産部 ベンラビハ ウサマさん

エンゲージメント

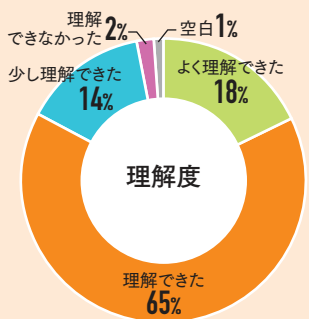
当社では、今後の活動や報告書の改善に役立てるため、サステナビリティレポートの読者の方々に、ご意見・ご要望をいただくアンケートを実施しています。今回はサステナビリティレポート2022について、当社の従業員およびご家族の方を対象にしたアンケート結果を報告します。

● サステナビリティレポートについて



ご意見

年々文字数の適正化がなされてきており、伝えたい内容が分かり易い



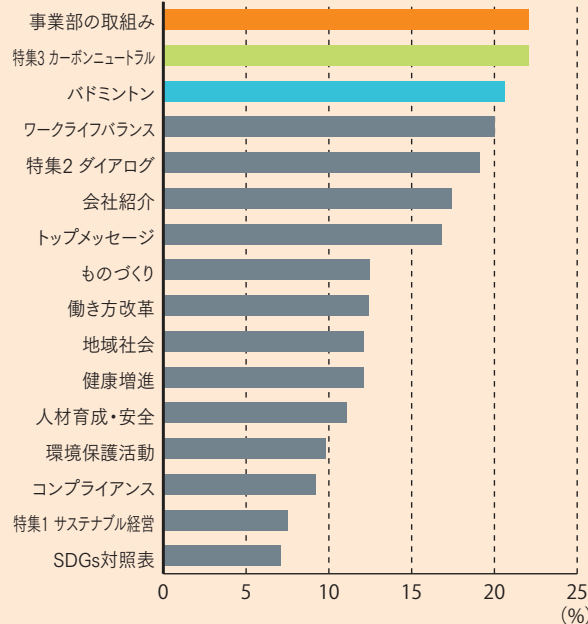
ご意見

従業員に対して当社のSDGs活動が理解できると良い

2023年度版への反映項目

より読みやすい紙面をめざして文字数の適正化と図表・グラフや写真を多用しました。SDGsでは特集2 p.07-08で当社活動を詳しく掲載し、さらに「私のSDGs宣言」で従業員自らSDGsへの貢献を業務を通じて役割を明確にしました。

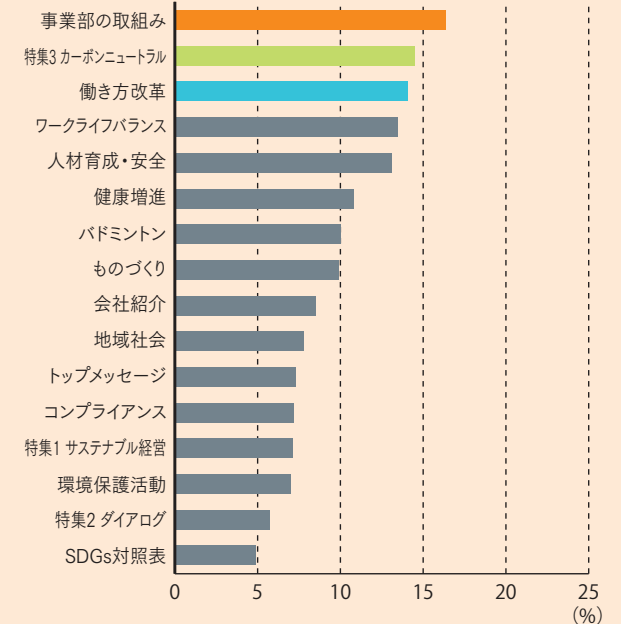
● 興味を持った項目について



2023年度版への反映項目

興味を持った項目の上位意見を反映して、カーボンニュートラルの視点から見た当社の取り組みを特集4 p.21-22で掲載しております。事業部の取り組みは環境への取り組みを中心にp.25-26に掲載しています。

● もっと知りたい項目について



2023年度版への反映項目

もっと知りたい項目の上位意見を反映して、働きやすい職場では、働きがい高める施策・活動として健康経営と働き方改革の分野で層別して掲載しております。バドミントンについても地域貢献の観点を中心にp.20に掲載しています。

サステナブルなものづくりと調達活動

【仕入先さまへの取り組み】

当社はオープンでフェアな取引を行い、それによって仕入先さまとの共存共栄をはかるとともに、環境に配慮したサステナブルな調達活動を仕入先さまとパートナーシップ強化を行い実践しております。



サプライチェーン



持続可能な調達活動に向けて、公正な取引

● 環境に配慮したサステナブルな調達活動

仕入先さまと環境負荷物質の少ない資材調達を『グリーン購買ガイドライン』を通し、推進してきました。

ガイドラインには、環境負荷物質の規制に関する法令に基づく調査を行うことを盛り込み、環境に配慮しております。



● 仕入先さまとともに成長をめざすCSR活動

仕入先さまと共存共栄をめざし、サステナブルな取引を行うことを目的に『仕入先さまCSRガイドライン』を制定しており、その取り組みをお願いしております。

ガイドライン掲載事項

【CSR理念】

東海興業株式会社は、経営基本理念の実践を通じて社会的責任を果たしてステークホルダーの期待に応える企業をめざします。

【購買方針】

基本方針、公正な購買活動、相互協力・信頼関係の構築、グリーン購買の推進、法の遵守と機密保持の徹底

【仕入先さまガイドライン】

コンプライアンス、人権と労働環境、環境、リスクマネジメント、情報開示、社会貢献

● 仕入先さまとのパートナーシップ強化

【パートナーシップ構築宣言】

当社では、政府の新たな取り組みに賛同し『パートナーシップ構築宣言』を公表しました。

仕入先さまとガイドラインに基づき、共同でロス低減活動を実施するなど、環境に配慮した取り組みを実施しております。



【協力工場会議】

当社では各事業部の生産管理部門主催による定例会議を仕入先さまと一緒に生産や品質に関わる情報交換を行っております。



協力工場現場確認風景

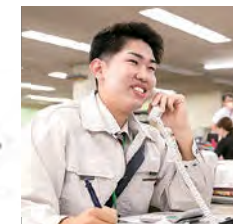
【品質優良褒章】

品質管理の優秀な仕入先さまへは、毎年『品質保証委員会』にて表彰しております。

私のSDGs宣言



仕入先様と信頼関係を構築した上、価格、納期、品質の観点から適切な取引先を選定し、強固な関係が継続できる様、より一層努力致します。



購買部 戸田雄大さん

東海興業グループ企業のCSR

当社が掲げる企業理念「よい製品によって社会に貢献し社業のたゆまない進展をめざす」の実現のため、グループ会社と共に社会課題の解決に貢献することを使命と考え、サステナビリティ経営をグループ全体で推進します。

化成工業株式会社

【企業情報】

住所:愛知県大府市横根町坊主山1の64

事業内容:自動車用・建築用・工業用ゴムの製造販売

従業員数:175人(2022年12月期)



当社は昭和41年6月、東海興業株式会社より、押出成形ゴム部門を分離独立、化成工業株式会社としてスタート。その後、自動車押出成形ゴムの専門メーカーとして、着実にノウハウと実績を重ねて参りました。また培ってきた技術を活かし建築・土木用製品・建機用シール材等々幅広い分野でゴムの高性能化を実現しております。多種多様に変動するニーズを一步先の視線でとらえたKKCのマーケティング力でお客さまのニーズをあらゆる角度から分析。今までにない新しい市場価値を誕生させるために、常に新しい技術を取り入れた材料研究・開発・設計に取り組んでおります。



本社工場



JIEI (THAILAND) Co., Ltd

カーボンニュートラルへの取り組み
屋根上太陽光パネル設置で再エネ活用

タカラ化成工業株式会社

【企業情報】

住所:愛知県西尾市上羽角町風越6

事業内容:各種合成樹脂製品の製造販売

従業員数:296人(2022年12月期)



昭和37年8月設立。当時はゴムが主流のオートバイ部品を合成樹脂による射出成形で生産開始しました。射出成形の専門メーカーとして特にガスアシストインジェクションによる長尺製品や型内インサート成形を得意としており、機能・デザイン共に兼ね備えた高品質な自動車用外装樹脂部品を生産しています。工程には成形・加工とも自動化を取り入れ原価低減と生産工程の安定化をはかっています。工場内には塗装設備も装備し社内での一貫生産が可能。お客さまに喜んでいただけるよう常に商品開発に取り組んでおります。また生産拠点は本社(愛知県西尾市)、九州(福岡県行橋市)、北関東(群馬県甘楽町)と3拠点あり、お客さまの近くで生産した製品を提供させていただいております。



本社工場(愛知県西尾市)



九州行橋工場



北関東甘楽工場

カーボンニュートラルへの取り組み
顧客に近い生産拠点で輸送時のCO₂を削減

S 社会 働きやすい職場(労働時間の管理)

化成工業の取り組み

Webの積極活用、行動予定の見える化ボードによる分業化により業務効率が向上しています。今後は勤怠管理システムを導入し労働時間の最適化をはかります。

2022年度
全社平均残業時間

17.4時間/月

タカラ化成工業の取り組み

自社開発した勤怠システムにより、労働時間・有給休暇取得日数等についてリアルタイムに見える化を実現。また個人別にアラート情報も発信し、管理者が常に把握できる状態で適正に管理しています。

2022年度
全社平均残業時間

18.4時間/月

E 環境 省エネ(CO₂削減)

化成工業の取り組み

エネルギー効率改善、高効率設備導入など日頃より省エネ改善活動に取り組み、その成果が評価されエネルギー管理優良事業者表彰を受賞しました。また省エネルギー月間特別講演会で事例発表を行いました。



タカラ化成工業の取り組み

2003年にISO14001を認証取得し、廃棄物削減・省エネに対して継続的な改善を推進しています。またカーボンニュートラル会議を開催しCO₂削減への積極投資も実施しています。



例) シリンダージャケットを装着し、保温効果で消費電力を削減

G ガバナンス リスクマネジメント(BCP)

化成工業の取り組み

大規模災害等を想定し復旧シナリオを構築し従業員への教育と訓練を推進しています。備蓄品倉庫を配置し防災用品、備蓄品の準備も進めています。



タカラ化成工業の取り組み

自衛消防隊を整備し、屋外消火栓を使用した放水訓練を月1回実施したり、火災避難訓練を夜間に行うなど、さまざま場面を想定し訓練を行っています。



私のSDGs宣言



カーボンニュートラルに対してマネジメントプログラムを作成し、CO₂排出低減活動を推進しています。常に省エネを意識し、皆と協力して目標達成に向け課題に取り組んでいきます。



化成工業 CSR推進課
小田 孝宏さん

私のSDGs宣言



安全衛生・防火防災活動およびQMS、EMSの手法を通じ、PDCA継続的改善を推進しています。働きやすい職場環境づくりやDXにも取り組むことでカーボンニュートラルに貢献していきたいです。



タカラ化成工業 CSR事務局
杉浦 秀和さん 加藤 隆宏さん

文化・スポーツを通じた社会貢献

当社は「六方よし」の精神にもとづき、文化・スポーツを通じた地域貢献を重視しています。さまざまな地域イベントを協賛・後援することで、豊かな生活文化、持続可能な未来づくりのために青少年の健全な育成をサポートしています。



伝統文化の伝承



● 亀崎潮干祭

亀崎潮干祭は衣浦工場のある半田市亀崎町で行われるお祭りで、300余年の歴史と伝統を守り、2016年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

当社は亀崎潮干祭に協賛し従業員駐車場を無料開放するなど、地域伝統を守る活動に貢献しています。



モータースポーツへの参加



● ダカール・ラリーを応援

当社は、豊かなスポーツ文化を創造し、心身の健全な発達と社会の発展に貢献するというCSR活動の理念のもと、「Team Land Cruiser TOYOTA AUTO BODY (運営トヨタ車体株式会社さま)」を応援しています。

2023年大会はサウジアラビアで開催され、市販車部門10連覇を達成しました。



バドミントンで地域に貢献



1986年に創部したバドミントン部は、バドミントンが盛んな地元大府市で実業団チームとして活躍するとともに、地域の青少年のスポーツ振興に貢献。文化体育のかけ橋として活躍しています。

●リーグ戦成績

女子が昨年S/Jリーグに昇格し、当社として初めて男女で臨んだリーグ戦は、男子が9位、女子が10位の結果でした。

今後もスポーツを通して文化交流につとめ、皆さまに応援していただけるクラブ活動を進めます。



●バドミントンを通じて幅広い地域での文化・スポーツ交流

当社に在籍する選手の出身地、福岡県で小学生から大人まで幅広い世代を対象に講習会を実施、愛知県内はもとより全国のバドミントンファンとの交流も深めています。



●オリンピック選手と共同でのジュニア育成

オリンピック出場選手が在籍する北都銀行女子バドミントンチームと共同で、大府市のジュニア世代を対象に練習会を開催し、次世代選手の育成活動やバドミントンの普及に取り組んでいます。

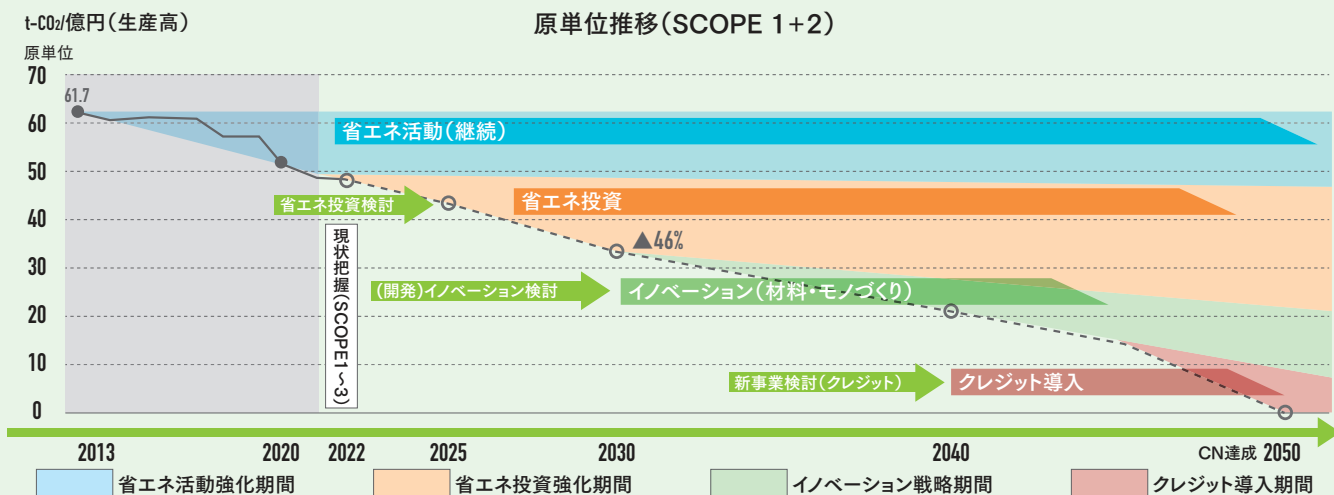


脱炭素社会に向けたカーボンニュートラルの取り組み

当社では2050年のカーボンニュートラルを目指し、2022年4月よりプロジェクト活動を開始しました。自社で排出されるCO₂だけでなく、製品の上流・下流で発生するCO₂に対しても見える化をし、削減活動を実施しています。

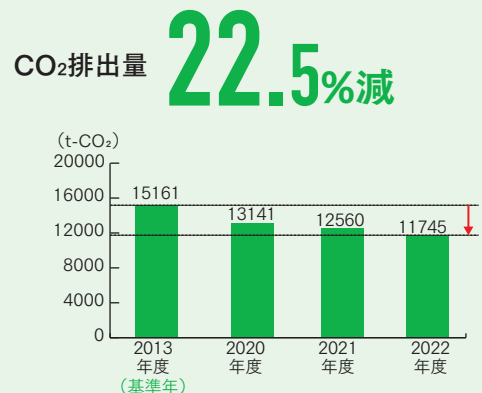
●カーボンニュートラルロードマップ

当社事業活動でのCO₂排出量を2030年までに46%以上を削減(2013年度比)、2050年に実質ゼロを目標として活動しています。



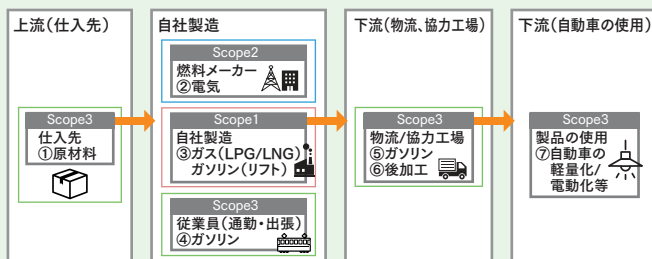
●2022年度の活動成果

日頃の省エネ活動をはじめ、生産ロス低減に伴うエネルギーの効率的な利用や、エコオフィスの推進によりロードマップの目標値に対し先行してCO₂を削減できました。

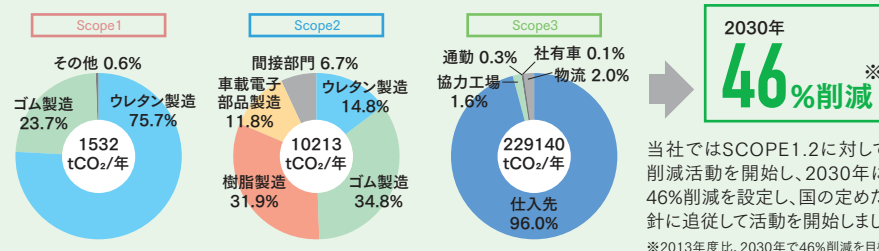


●ライフサイクル全体でのCO₂排出ゼロへ挑戦

当社は自社の生産工程だけでなく、モノづくりの上流(原材料調達)・下流(物流)などで排出されるCO₂に対しても実態調査をし、削減活動を開始しました。



2022年度調査結果

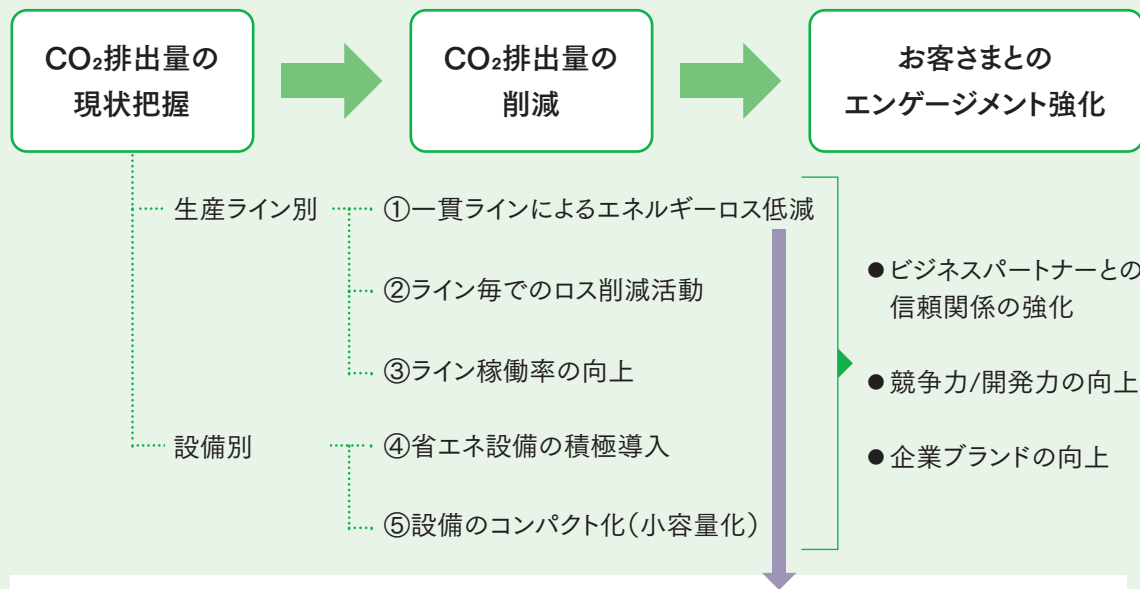


■当社のGX(グリーントランスフォーメーション)活動

当社カーボンニュートラル活動の多角的なアプローチとして、製造事業部にて実施しているロスのない生産活動、および森林保護や自社製品の技術貢献によるGX(グリーントランスフォーメーション)を紹介します。

●生産性が高くロスの少ない事業活動

製造事業部のロス削減事例〔当社のエネルギーマネジメント〕



ゴム製品の混練・押出・加工まで同一工場内(高浜)で完結



混練



押出



加工

●自然環境に配慮した事業活動

当社の取り組み事例

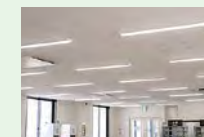
○下條工場での里山保護

工場敷地に広がる約5.8haの森林に対して適切な間伐を実施し、森林管理することで50.3tCO₂/5か年の認定を長野県から受けました。



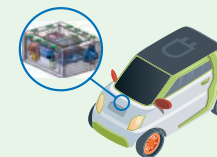
○エコオフィスの推進

照明のLED化や老朽化したエアコンを順次交換することにより製造現場だけでなく、オフィスの省エネ活動も展開しています。



○自社製品による技術貢献

当社はカーボンニュートラルに欠かせない自動車の電動化に対して求められる車載電子部品を下條工場で製造しており、省スペース化や軽量化などで技術貢献しています。



持続可能な社会をめざす環境対応

【環境保護への取り組み】持続可能な社会をめざす環境対応を

当社では、「美しい地球環境の維持と従業員の幸福を考え、環境マネジメント活動を実践し、企業の正しい発展と
 良き企業人を育成する」という環境基本方針のもと、地球温暖化対策や廃棄物の抑制等の活動を推進しています。



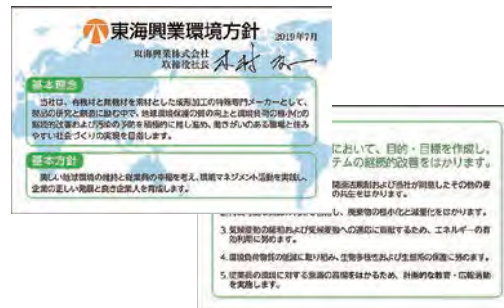
環境保護活動



●環境方針

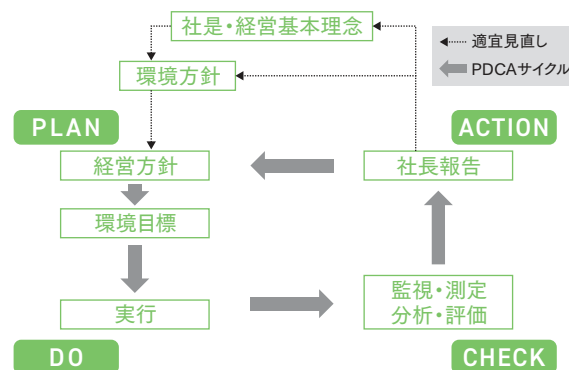
当社では、「一人ひとりが環境配慮皆で実行 地球にやさしい生産活動」を環境スローガンとし、従業員全員が環境方針カードを携帯、環境リテラシー向上につとめ、環境保護活動に取り組んでいます。

環境方針カード



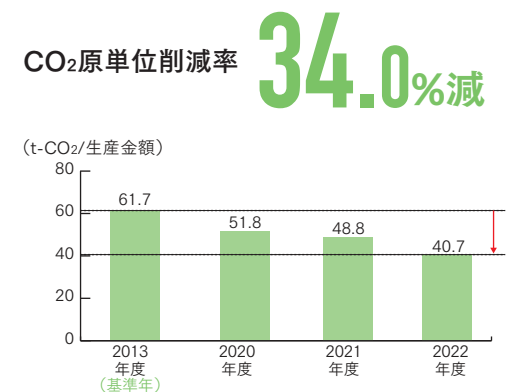
●環境マネジメントシステム

当社は2001年に取得したISO14001に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、全工場統一した組織活動により様々な環境負荷低減に向けて、常に継続的な取り組みを進めています。



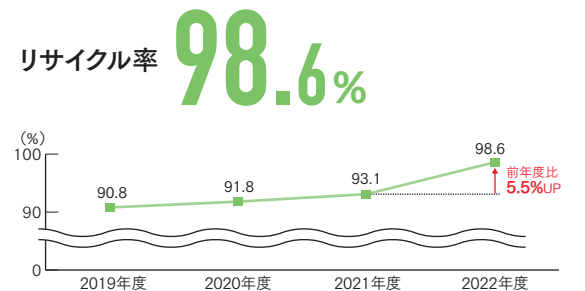
●地球温暖化対策 (CO₂削減)

当社は地球温暖化対策として、CO₂削減に向けてさまざまな取り組みを展開しています。高効率設備の導入、エコオフィス推進、業務の効率化など、2050年のカーボンニュートラル達成に向け活動しています。



●廃棄物抑制

当社では、廃棄物に対し3R (Reduce、Reuse、Recycle) をキーワードに削減活動を推進しています。2022年度は、樹脂と金属の複合部品のリサイクル率が大幅に向上しました。



人と地球にやさしい未来へのイノベーション

材料開発から製品企画、設計、製品製造までを一貫して社内にて実施。こうした独自の生産体制を構築し、カーボンニュートラルや次世代モビリティへ高品質な製品をオンリーワン技術により提供しています。



次世代に向けたモビリティへの製品提供



電動化によるカーボンニュートラルに寄与する製品



HEV車の黎明期から電動化に関わってきた当社は、PHEV、FCV、BEVとさまざまな環境車へCAE解析による最適化や独自成形技術を用いた高品質の製品を供給しています。

また、製造工程においてもCO₂低減を意識した工法開発を進めており開発から生産までトータルでカーボンニュートラルに貢献しています。

①リアクトル: バッテリ電圧を昇圧し、燃費を向上させます

世界初の高難易度の部材を特許工法「TACモールド」で一体成型し、量産することに成功しました。一体成型することでHEV車などの燃費向上に貢献しています。さらに製造ラインの加熱工程を廃止し、カーボンニュートラルに貢献しています。

②バスバー: モーターを駆動させるために大電流を流します

省スペース配線が必要なため、高い製品精度が必要ですが、CAE解析を駆使し高精度製品を量産化しました。バスバーを一体成型することで省スペース化できHEV車などの軽量化に貢献しています。

快適空間への挑戦



自動運転の開発が進む中、快適な移動空間としてのモビリティが求められています。当社はゴム・ウレタン・樹脂専門メーカーとして培った技術を高度化し、静かで乗り心地の良い次世代モビリティへ日々チャレンジしています。

③ドアオープニングシール: 室内への水やホコリ、騒音の侵入を防ぎます

ドアと接触しているシール部品は、走行時の車体振動等によるドアとの擦れ異音が課題でした。当社はシール用シリコンを新開発し、ドア接触部に塗布することで消音/高耐久を実現、快適な車内空間に貢献しています。

④ラテキュラルフォーム: ウレタンシートと二層構造で乗り心地を向上させます

柔らかくモチリ触感のラテキュラルフォームを新開発。当社の特徴であるフィット感や体圧分散性の良さに加え、運転時の姿勢やホールド性を進化させ、快適な乗り心地を提供しています。

私のSDGs宣言



環境技術に関しては学生の頃から興味がある分野であり、現在は研究しているテーマを通して社会に貢献できることを目標に日々開発に取り組んでいます



研究開発部 田村宏平さん

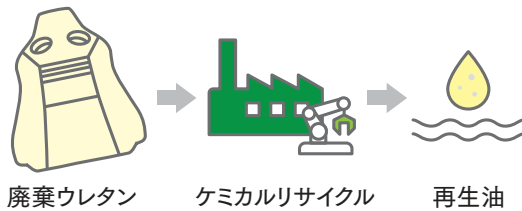
事業部の環境への取り組み

ウレタン事業部

● エネルギー効率、リサイクルを意識した改善活動の推進

ウレタンの成形は、ラインに搭載された金型の温調に大きなエネルギーを必要とします。このため、生産変動により大きな稼働ロスが発生してしまうことが課題でしたが、ライン稼働方法の見直し、一昨年に続き省エネボイラーへの更新などの改善を積み重ねてエネルギー効率を向上させています。

また、リサイクルの面では従来、不純物の多いウレタン屑は、焼却処分となっておりましたが、ケミカルリサイクルの技術が確立したことにより、100%リサイクルが可能になりました。今後も材料技術、生産技術、現場力の総合力で、環境への取り組みを推進します。



廃棄ウレタンのリサイクル



省エネボイラー

私のSDGs宣言



照明のこまめな電源のOFF、適切な室温での冷暖房管理。9イム等E活用は使用時間頻度の削減によって、CO2排出量の削減に努めます。



ウレタン事業部 芹澤航也さん

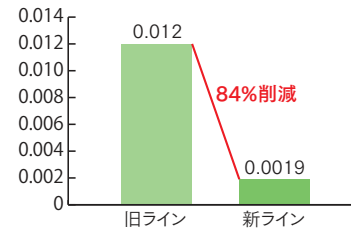
ゴム事業部

● 熱効率向上によるガスおよび電力使用量削減

2022年に新設した高浜工場の新押出ラインは、製品を加温する加硫槽炉の断熱性、高気密性、熱循環性を向上させ旧ラインに対しガスの使用量を約84%削減することに成功しました。生産スピードに関しても旧ラインと比較して1.5倍速くなり、生産性向上の効果として電力の使用量も約10%削減を達成しました。2023年も新ラインへの製品移管を予定しておりさらなるCO₂削減効果が期待されています。また、ゴムの混練ラインでは冬場の温度低下により生産時間が長く効率が悪くなっていましたが、原材料の改善などで年間を通し安定した生産条件により、品質向上とともに省エネを実現しました。



単位長さの生産に使用するガス(m³/m)



ゴム混練ライン

私のSDGs宣言



今期高浜工場へ高性能・高効率の新ラインが導入されました。慢性的に発生する不良を削減し目標を達成します



ゴム事業部 野田靖博さん

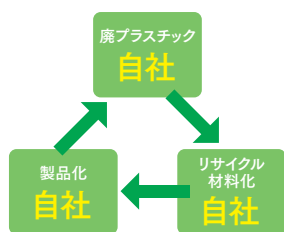
当社の各製造事業部では「環境方針」に基づき、工場毎で特色ある環境改善を展開しています。CO₂削減、リサイクル推進、作業環境など地球環境保護をはじめ、多方面からのアプローチを日々検討し、施策を実行しています。



樹脂事業部

● 自社でのプラスチック粉砕リサイクル推進

当社は3R(Reduce, Reuse, Recycle)の積極的な推進活動を展開しています。特に廃棄物をとことん減らすReduceに取り組んでいますが、工程内で発生する廃棄物のリサイクルについても改善を進めています。その一例として、自動車の外装部品として採用されているプラスチック部品について、廃棄物を粉砕し再利用することでCO₂排出削減に貢献しています。化石燃料から生成されるプラスチックは再生することにより、生成過程でのCO₂が大幅にカットされます。自社で再利用するために、最適な粉砕方法、配合比率等の検討、生産、評価を繰り返し、お客さまの承認を得てリサイクル材使用を開始することができました。



粉砕プラスチック



押出製品

私のSDGs宣言



押出製品の廃棄物の自社リサイクルの工程検討を行っています。リサイクル先の製品の品質・生産性を満足し、なるべく多くの廃棄物を資源にできるように尽力します。



樹脂事業部 平田泰浩さん

電子デバイス事業部

● クリーン工場で作業環境とエネルギーの効率化

車載電子部品を生産している下條工場では、製品への異物の付着・混入は品質不具合に直結するため工場内のクリーン化を進めてきています。これにより作業環境は四季を通して一定の温度で作業が行える環境になっています。また、工場内への異物の持ち込みは、人からの要因が大きく、入場時には制電服、制電帽を着用しエアシャワーを浴びることとなっています。人と製品の接触は少ない方がよいことからロボットの導入での自動化を積極的に進めています。今後は、工場内の物流および搬送の自動化を推進し、CO₂排出削減など環境の良い働きやすい工場をめざします。



自動生産ライン

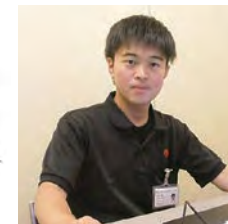


マテハン(搬送ロボット)

私のSDGs宣言



量産中の製造ラインの業務改善や量産金型の増面などを行っています。生産ラインの見直しによりロス削減や生産性の向上を意図して業務に日々努めています。



電子デバイス事業部 宮川耕一さん

持続可能な企業づくりを推進

【コンプライアンス・リスクマネジメント】サステナブル企業づくりにおける責任

当社の企業ガバナンスは、法令遵守にとどまらず、企業倫理を向上させ、それを通じてお客さまの要求にお応えするという、一歩踏み込んだ活動を進めています。



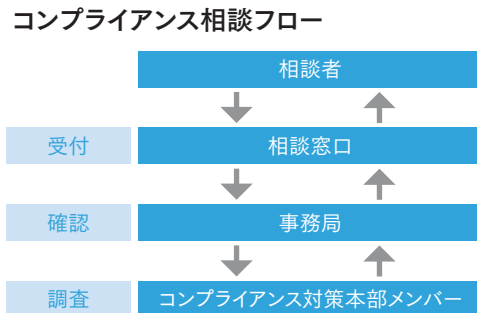
コンプライアンス



法令遵守、企業倫理、モラル向上などあらゆる活動を推進

●コンプライアンス推進体制

当社は各部門からなるコンプライアンス委員会を設置し運営するとともに、業務上のコンプライアンス対応に関する従業員からの相談のため、公益通報者保護法を遵守した社内・社外コンプライアンス相談窓口を設置しています。



●従業員の対応力強化

当社で働くすべての従業員が、自らCSR活動でどうすべきかを考え、社会人としての自覚をもって社会の模範となるため、適切な行動が出来るよう、CSR教育を通じて企業風土を醸成します。

21世紀を飛躍し続ける



●倫理行動の周知徹底

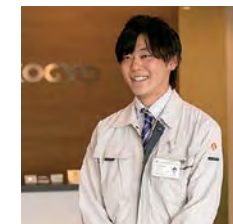
従業員の倫理的かつ規律ある行動の推進のため、社会人として良識のある行動の基本方針をまとめた「東海興業グループ倫理行動規範ハンドブック」を配布し、常に携帯することで、倫理行動の浸透を促しています。



倫理行動規範ハンドブック

私のSDGs宣言

毎日の事業活動で発生する各部の経費を正しく管理・集計し、経費削減を実現できるように日々業務に取り組んでいます。



経理部 大西永起さん

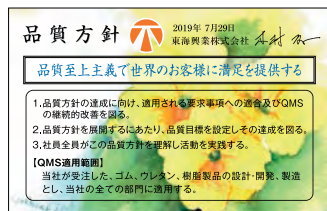
品質至上主義



品質管理の徹底により、お客さまとの信頼関係を構築

●品質マネジメントシステム

当社では、ISO9001を2003年8月に取得し、現在も認証を継続しています。今後も継続して活動し、品質のスパイラルアップを展開していきます。



品質方針カード

●品質意識向上への取り組み

社内の品質状況や、品質イベントを取りまとめた『品質ニュース』を、社内・グループ会社・協力工場さまへ毎月発行し、品質意識啓発に努めています。



●品質展示会の開催

毎年11月の品質月間では、各部門、関連会社及び協力工場が現地現物で品質向上に取り組んだ事例を紹介しサプライヤー全体での情報共有と、品質向上の場として活用いただいています。



品質展示会会場

Topic 客先品質優良賞の受賞

2023年2月に本田技研工業株式会社さまより、日常の品質改善活動の証として、『優異感謝賞 品質部門』を受賞しました。300社以上のあるサプライヤーの中から特に優秀なサプライヤーに対する表彰で、当社は2019年の『原価部門』に続いての受賞となりました。



リスクマネジメント



あらゆるリスクを予防、事業の継続と安定的発展を確保

●大規模自然災害

大規模地震やスーパー台風などの自然災害に備え、事業継続計画 (Business Continuity Plan) を策定し、東南海地震を想定した初動訓練を定期的実施しています。



初動訓練(安否確認)風景

●情報セキュリティ

事業活動に関わる情報資産を重要な資産と位置づけ、機密情報保護規定を策定し運用しています。年々高度化・巧妙化するサイバー攻撃に対して常に危機感を持ち、リスク管理を行っています。

自動車産業
セキュリティチェックシート

100点達成 (Lv.1項目)

●防火

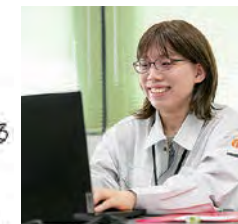
火災はサプライチェーン全体へ影響を及ぼす重大リスクと捉え、法令点検の他、自主点検や消防署との訓練を実施し、火災未然防止活動を行っております。



私のSDGs宣言



紛争地域での武装勢力の人権侵害や紛争を撲滅するために資金源となっている精錬所をサプライチェーンを遡って調査しフェアな取引を管理しています。



品質保証部 山内裕紀さん

CSR活動とSDGs

SDGs	当社の取り組み	ページ
元気で強い会社づくり 	【社会：健康経営】ワークライフバランス・健康リテラシー向上	11
	【社会：健康経営】生産性の向上・ワークエンゲージメント	12
	【社会：働き方改革】労働安全・仕事の価値の再確認	13
	【社会：働き方改革】ダイバーシティ・人材育成	14
	【社会】サプライチェーン	16
地域社会活性化の支援 	【社会】伝統文化の伝承・モータースポーツへの参加	19
	【社会】バドミントンで地域に貢献	20
事業を通じた脱炭素社会実現への貢献 	【環境】環境保護活動	23
	【環境】次世代に向けたモビリティへの製品提供	24
	【環境】事業部の環境への取り組み	25～26
持続可能な企業づくりを推進 	【ガバナンス】コンプライアンス	27
	【ガバナンス】品質至上主義・リスクマネジメント	28

ガイドライン・第三者意見

● ISO26000

当社では、「ISO26000」の中核主題に沿って取り組みを整理し、CSR活動の拡充に努めています。



● GRIガイドライン

本報告書は、GRIスタンダード「Global Reporting Initiative」を参考に編集を行っています。

GRI 200 経済
調達慣行
腐敗防止
反競争的行為
GRI 300 環境
原材料
エネルギー
水と廃水
生物多様性
大気への排出
排水および廃棄物
環境コンプライアンス
サプライヤーの環境面のアシスト

GRI 400 社会
雇用
労使関係
水と廃水
労働安全衛生
研修と教育
ダイバーシティと機会均等
非差別
強制労働
人権アセスメント
地域コミュニティ
顧客プライバシー
社会経済コンプライアンス

● 第三者意見

当報告書は、ページ数は多くはないが、図や写真を多用する一方で、説明文も工夫されており、サステナビリティ報告書としてわかりやすくまとまっている。成果をグラフや数字で示している点もよい。当報告書に依拠して、当社の取り組みを概観してみよう。

東海興業さんは、「六方よし」という考え方に基づいて、未来の人々を含めた様々なステークホルダーを視野に入れた取り組みを進めている。サステナビリティは、空間軸でも時間軸でも広い視野が求められるので、良い方針と思われる。しかも、「売り手よし」はサステナビリティが経営戦略であることが理解できていることを示している。経営的意味があるからこそしっかりとした取り組みもでき、社会と自社のサステナビリティにつながるのである。

また、特集ではSDGsが取り上げられているが、単に時流に乗っているだけではない印象がある。つまり、ゴール間の連環を示しつつ戦略構造を示す形式がとられており、経営戦略が体系を成すことが理解されている。しかも、貢献するSDGsをターゲットレベルでも記載ができており、SDGs理解やその表現方法において水準の高さを感じさせる。

加えて、「私のSDGs宣言」として社員のSDGsに対する姿勢が掲載されているが、現代の経営課題の1つである組織的統合を、組織の取り組みと各社員の問題意識との統合を図ることによって推進する良い試みである。

各事業をESGに分類して表現している点は1つの工夫である。事業分野から言えば、サプライチェーンマネジメントへの対応が重要となってくる領域であり、規模の大きな企業ではESGの観点からの事業の整理がよくみられる。それへの対応という点で、戦略的観点がうかがえる。

環境負荷が大きい事業分野であるため、E(環境)への

取り組みは必須である。そこで、ISO認証を取得して取り組みを充実させている点は評価できる。さらに、カーボンニュートラルを重要な課題として設定し、サプライチェーン排出量も視野に入れて取り組みが進められている。経営の持続可能性にとって重要な戦略領域が認識されていることがうかがえる。

S(社会)に関しては、健康経営や働き方改革に取り組んでいるが、従業員のパフォーマンスを引き出すことにつながる点が解説されており、人的資本投資を意図した取り組みであることが示されている。

また、G(ガバナンス)については、従業員の対応力(アジリティ)の強化に触れられている。組織規模が大きくなればなるほど、組織の末端に至るまでの取り組みが重要である。

ただ、課題も感じられる。例えば、地域貢献の取り組みがなされているが、それが自社のサステナビリティにどのようにつながっているかを解説いただくと、サステナビリティの取り組みとしての一貫性も示しやすかったのではないと思われる。また、ガバナンスに関しては、外部取締役や内部通報の仕組みなど、組織体制に関する説明もあるとよかったのではないと思われる。



影山摩子弥

専門は、経済原論、経済システム論、地域CSR論。研究・教育の傍ら、海外や日本国内の行政機関、企業、NPO・NGOなど様々な組織からのCSRの相談に対応している。2006年には、企業や行政の相談への対応や学生の実践的教育のための横浜市立大学CSRセンター有限責任事業組合(現 CSR&サステナビリティセンター合同会社)を5名の教員で立ち上げ、センター長を務めている。主な著書に、『なぜ障がい者を雇う中小企業は業績を上げ続けるのか?』(中央法規出版)、『地域CSRが日本を救う』(敬文堂)など。

東海興業株式会社

〒474-8688 愛知県大府市長根町四丁目1番地
TEL 0562-44-1500 FAX 0562-44-1590
<https://www.tokaikogyo.co.jp/>



印刷インキには、生分解性に優れ、VOC(揮発性有機化合物)が少なく、環境に優しい原材料である「植物油インキ」を使用しています。